



発行所 (一社) 日本包装機械工業会 東京都中央区新富2-5-6 電話(03)6222-2275-6222-2278 発行人 生田芳規 毎月15日発行 1ヵ月 2100円 購読料 (消費税・送料含む)

緩やかな回復基調で計画超えへ

日本包装機械工業会・平成25年度事業計画

技術開発・高度化など 各種事業をダイナミックに

安定的発展と公益に尽力

日本包装機械工業会(生田芳規会長)は5月16日、神奈川県奥平郡の山翠楼で、平成25年度通常総会を開催し、平成24年度事業報告、決算報告および理事と監事選任を承認。続けて、同25年度事業計画と収支予算案を採択し、それぞれ可決、承認した。

同24年度の包装機械産業は、上半期までは長引くデフレや歴史的円高貿易赤字などに起因する消費、設備投資マインドの冷え込みが継続。しかし下半期以降は、円安と株価回復による経済の緩やかな回復基調がみられ、輸出も堅調に推移していることから、当初計画の3847億円を上回る見込みだ。今年度は、前年度に引き続き、国・地方自治体の中小企業対策関連施策などを有効に活用。わが国包装機械産業の安定的発展と公益確保に貢献すべく、技術開発・高度化事業、貿易促進・国際化事業、広報・販売事業、人材育成事業——等々を、会員と一丸となってダイナミックに展開していく。

■基本方針

平成24年度は、上半期までは長引くデフレ、歴史的円高、貿易赤字等の要因によって消費や設備投資マインドの冷え込みが続いた。下半期に入ると、円安と株価回復による経済の緩やかな回復基調がみられるようになり、同25年度は自民党政権下における力強い景気回復への各種施策が期待されている。

平成23年度の包装機械産業の伸びは対前年度比0.8%に止まったが、同24年度の機械統計(経済産業省)の数字で、前年を上回るペースで推移していることが、生産額は当初計画の3847億円を上回っている。平成25年度は、会員企業をはじめ、わが国包装機械産業の安定的発展と公益の利益に役立つため、前年度に引き続き、国・地方自治体の中小企業対策関連施策を有効に活用。技術開発・高度化事業、貿易促進・国際化事業、広報・販売事業、人材育成事業——等々を、工業会会員一丸となってダイナミックに展開していく方針。

■調査情報に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集。広く一般に公開して、わが国包装機械・関連機器メーカーの海外展開の支援の一助とする。

(1) アメリカ包装機械市場の動向調査
シエトロ・シカゴ・エンタープライズ・インフォメーション・サービス社を通じて、定期的にアメリカの包装機械市場に関する技術動向等に関する調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

(2) 第7次東南アジア包装市場視察団の派遣
平成25年6月にタイ・バンコク・Phuket・Bangkokを訪問し、同国包装機械産業の発展と我が国との関係強化を図る。

(3) C.O.P.A. 加盟国との協同調査
今年度も引き続き世界の包装機械製造者団体連合会であるC.O.P.A. (Confederation of Packaging Machinery Manufacturers of Asia) 加盟国との協同調査を実施し、包装機械の最新動向や市場の調査を行う。

(4) 上海包装機械展の開催
今年度は上海包装機械展(Shanghai Packaging Machinery Exhibition)の開催を機に、上海包装機械展の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

(5) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査
わが国包装機械メーカーが製造する包装機械の生産高・輸出入高の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

■機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業

毎月一回(15日)、機関紙「包装機械新聞」を発行する。わが国の包装機械・関連機器、包装資材等の最新動向や市場の調査結果を掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

●企画運営委員長・酒井秀樹氏(川島製作所)が編集長に就任し、編集・発行業務を担う。

■第40期包装学校の開講に関する事業

井秀樹氏(川島製作所)が編集長に就任し、編集・発行業務を担う。

●企画運営委員長・酒井秀樹氏(川島製作所)が編集長に就任し、編集・発行業務を担う。

■技術センターに関する事業

今後のわが国包装機械の輸出促進や機械安全の高度化に貢献するため、EN415規格に関する調査研究を目的とした委員会を設置。今までの国内の包装機械ではほとんど取り上げてこなかった事項についての調査研究に着手し、わが国包装機械産業の技術の高度化推進に努める。

(1) EN415規格に関する調査研究
EN415(1-10)の各規格を翻訳するとともに、中心となる種類の規格内容の検討を行う。英国がEN415規格をISO規格として、EN415規格が日本の包装機械に適用できる部分と適用できない部分についての調査研究を行う。

(2) 包装機械の騒音測定調査
EN415-9の規格に準拠した騒音測定方法を定め、わが国の包装機械メーカーが製造する包装機械の騒音測定方法を統一し、騒音の低減を図る。

(3) 包装・荷造機械の安全基準
包装・荷造機械の安全基準の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

(4) 包装・荷造機械の安全基準
包装・荷造機械の安全基準の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

■検査センターに関する事業

包装機械および関連機器の安全性・衛生性を高めるため、検査センターを設置し、検査を行う。

(1) 包装・荷造機械の安全基準
包装・荷造機械の安全基準の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

(2) 包装・荷造機械の安全基準
包装・荷造機械の安全基準の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

■総会、理事会、支部役員会、支部会、委員会等の開催に関する事業

平成25年度事業計画に基づき、通常総会、理事会、支部役員会、支部会、委員会等の開催を行う。

(1) 平成25年度通常総会の開催
平成25年5月16日に神奈川県奥平郡の山翠楼で、平成25年度通常総会を開催し、平成24年度事業報告、決算報告および理事と監事選任を承認。続けて、同25年度事業計画と収支予算案を採択し、それぞれ可決、承認した。

(2) 理事会の開催
今年度の事業計画に基づき、平成25年5月16日に通常総会を開催し、同24年度事業報告・収支決算書の審議、理事補充にかかわる理事候補者、監事候補者の審議と同25年度事業計画案・収支予算案の報告を行った。

(3) 支部役員会の開催
今年度の事業計画に基づき、各支部で支部役員会を開催し、支部の活動方針や事業計画の進捗状況の報告を行うことと、次年度事業計画に関する意見交換を行うこととを目的とした。

(4) 支部会の開催
今年度の事業計画に基づき、各支部で支部会を開催し、支部の活動方針や事業計画の進捗状況の報告を行うことと、次年度事業計画に関する意見交換を行うこととを目的とした。

(5) 委員会の開催
今年度の事業計画に基づき、各委員会で開催し、委員会の活動方針や事業計画の進捗状況の報告を行うことと、次年度事業計画に関する意見交換を行うこととを目的とした。

■展示会検査委員会

展示会検査委員会を設置し、展示会の検査を行う。

(1) 展示会検査委員会の設置
展示会検査委員会を設置し、展示会の検査を行う。

■広報・販売委員会

広報・販売委員会を設置し、広報・販売業務を行う。

(1) 広報・販売委員会の設置
広報・販売委員会を設置し、広報・販売業務を行う。

■委員会

委員会を設置し、委員会の業務を行う。

(1) 委員会の設置
委員会を設置し、委員会の業務を行う。

■調査情報に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集。広く一般に公開して、わが国包装機械・関連機器メーカーの海外展開の支援の一助とする。

■機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業

毎月一回(15日)、機関紙「包装機械新聞」を発行する。わが国の包装機械・関連機器、包装資材等の最新動向や市場の調査結果を掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

■第40期包装学校の開講に関する事業

井秀樹氏(川島製作所)が編集長に就任し、編集・発行業務を担う。

■技術センターに関する事業

今後のわが国包装機械の輸出促進や機械安全の高度化に貢献するため、EN415規格に関する調査研究を目的とした委員会を設置。今までの国内の包装機械ではほとんど取り上げてこなかった事項についての調査研究に着手し、わが国包装機械産業の技術の高度化推進に努める。

■技術センターに関する事業

今後のわが国包装機械の輸出促進や機械安全の高度化に貢献するため、EN415規格に関する調査研究を目的とした委員会を設置。今までの国内の包装機械ではほとんど取り上げてこなかった事項についての調査研究に着手し、わが国包装機械産業の技術の高度化推進に努める。

(1) EN415規格に関する調査研究
EN415(1-10)の各規格を翻訳するとともに、中心となる種類の規格内容の検討を行う。英国がEN415規格をISO規格として、EN415規格が日本の包装機械に適用できる部分と適用できない部分についての調査研究を行う。

(2) 包装機械の騒音測定調査
EN415-9の規格に準拠した騒音測定方法を定め、わが国の包装機械メーカーが製造する包装機械の騒音測定方法を統一し、騒音の低減を図る。

(3) 包装・荷造機械の安全基準
包装・荷造機械の安全基準の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

(4) 包装・荷造機械の安全基準
包装・荷造機械の安全基準の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

■検査センターに関する事業

包装機械および関連機器の安全性・衛生性を高めるため、検査センターを設置し、検査を行う。

(1) 包装・荷造機械の安全基準
包装・荷造機械の安全基準の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

(2) 包装・荷造機械の安全基準
包装・荷造機械の安全基準の調査を行う。調査結果は「包装機械新聞」等に掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

■総会、理事会、支部役員会、支部会、委員会等の開催に関する事業

平成25年度事業計画に基づき、通常総会、理事会、支部役員会、支部会、委員会等の開催を行う。

(1) 平成25年度通常総会の開催
平成25年5月16日に神奈川県奥平郡の山翠楼で、平成25年度通常総会を開催し、平成24年度事業報告、決算報告および理事と監事選任を承認。続けて、同25年度事業計画と収支予算案を採択し、それぞれ可決、承認した。

(2) 理事会の開催
今年度の事業計画に基づき、平成25年5月16日に通常総会を開催し、同24年度事業報告・収支決算書の審議、理事補充にかかわる理事候補者、監事候補者の審議と同25年度事業計画案・収支予算案の報告を行った。

(3) 支部役員会の開催
今年度の事業計画に基づき、各支部で支部役員会を開催し、支部の活動方針や事業計画の進捗状況の報告を行うことと、次年度事業計画に関する意見交換を行うこととを目的とした。

(4) 支部会の開催
今年度の事業計画に基づき、各支部で支部会を開催し、支部の活動方針や事業計画の進捗状況の報告を行うことと、次年度事業計画に関する意見交換を行うこととを目的とした。

(5) 委員会の開催
今年度の事業計画に基づき、各委員会で開催し、委員会の活動方針や事業計画の進捗状況の報告を行うことと、次年度事業計画に関する意見交換を行うこととを目的とした。

■展示会検査委員会

展示会検査委員会を設置し、展示会の検査を行う。

(1) 展示会検査委員会の設置
展示会検査委員会を設置し、展示会の検査を行う。

■広報・販売委員会

広報・販売委員会を設置し、広報・販売業務を行う。

(1) 広報・販売委員会の設置
広報・販売委員会を設置し、広報・販売業務を行う。

■委員会

委員会を設置し、委員会の業務を行う。

(1) 委員会の設置
委員会を設置し、委員会の業務を行う。

■調査情報に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集。広く一般に公開して、わが国包装機械・関連機器メーカーの海外展開の支援の一助とする。

■機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業

毎月一回(15日)、機関紙「包装機械新聞」を発行する。わが国の包装機械・関連機器、包装資材等の最新動向や市場の調査結果を掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

■第40期包装学校の開講に関する事業

井秀樹氏(川島製作所)が編集長に就任し、編集・発行業務を担う。

■技術センターに関する事業

今後のわが国包装機械の輸出促進や機械安全の高度化に貢献するため、EN415規格に関する調査研究を目的とした委員会を設置。今までの国内の包装機械ではほとんど取り上げてこなかった事項についての調査研究に着手し、わが国包装機械産業の技術の高度化推進に努める。

■調査情報に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集。広く一般に公開して、わが国包装機械・関連機器メーカーの海外展開の支援の一助とする。

■機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業

毎月一回(15日)、機関紙「包装機械新聞」を発行する。わが国の包装機械・関連機器、包装資材等の最新動向や市場の調査結果を掲載し、広く一般に公開して、会員企業をはじめ、輸出業者等に活用する。

■第40期包装学校の開講に関する事業

井秀樹氏(川島製作所)が編集長に就任し、編集・発行業務を担う。

■技術センターに関する事業

今後のわが国包装機械の輸出促進や機械安全の高度化に貢献するため、EN415規格に関する調査研究を目的とした委員会を設置。今までの国内の包装機械ではほとんど取り上げてこなかった事項についての調査研究に着手し、わが国包装機械産業の技術の高度化推進に努める。

■検査センターに関する事業

包装機械および関連機器の安全性・衛生性を高めるため、検査センターを設置し、検査を行う。

■総会、理事会、支部役員会、支部会、委員会等の開催に関する事業

平成25年度事業計画に基づき、通常総会、理事会、支部役員会、支部会、委員会等の開催を行う。

■展示会検査委員会

展示会検査委員会を設置し、展示会の検査を行う。

■広報・販売委員会

広報・販売委員会を設置し、広報・販売業務を行う。

■委員会

委員会を設置し、委員会の業務を行う。

■調査情報に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集。広く一般に公開して、わが国包装機械・関連機器メーカーの海外展開の支援の一助とする。

INDEX

- 2面 日包工・青年部会 平成25年度通常総会
- 3面 ジャパンパック活用セミナーに150人(東京・大阪)
- 5面 フレキシブル包装の11の傾向(米国の包装機械市場リポート)
- 7~9面 「包装・荷造機械」の安全基準—2013」リクスの見積もりほか